

令和3年度 事業報告について

1. 事業概況

新型コロナウイルスの感染拡大が続く中、昨今ではウクライナ情勢が追い打ちをかけ今後の景気は対露経済制裁の行方に大きく左右される状況となっています。このような状況は、我が国における雇用情勢をはじめ社会経済活動に大きな影響を与え、シルバー人材センター事業においても昨年度と同様大きく影響を受けました。

当センターでは、令和3年度請負契約から派遣契約への切り替えが進んだため派遣事業受託収益が対前年度比較約200万円強の増収となり、また、請負業務においても前年度と同様に推移した結果、当期経常増減額は200万円超の増益という結果となりました。

2. 会員の確保

令和2年度に続き実施された、連合主催の「会費無料キャンペーン」に併せ、令和3年度は入会説明会を市内6地区に出向き各地区センターにて実施しました。開催には、地区長を始め地域班の協力を頂き会員による司会進行や就業体験を交えるなど普段にはない形での説明会としました。また、女性限定入会説明会を開催し女性会員の増強に向けた姿勢も強調しました。

結果、会員数は令和3年度実績で703人となり、年度末実績としては初めて700人の大台に乗りましたが、女性会員比率は23.6%と前年度より0.1%の微増となり、今後益々の増強対策を必要とする状況が浮き彫りとなっています。

また、入会者総数は114人となり令和2年度の131人より減少しましたが、退会者の抑制策として「ゴールド会員制度」などを実施し、退会者総数は95人となり令和2年度115人を下回る結果となりました。

3. 就業の充実

就業相談会を市内6地区に出向き開催するなどして、未就業者への支援に取り組みました。また、会員サロンへの会員アンケートや説明会時の希望職種の聴取等会員ニーズを把握し就業開拓への参考としました。

そして、正副理事長をメンバーに加えた就業開拓戦略会議を立ち上げ、就業開拓の在り方を始めとしてセンター一丸となった取組みを開始しました。

4. 安全就業の推進

安全確保は、シルバー会員として就業するうえで何よりも優先すべき課題です。センターでは安全委員会を設置し、年間を通じた安全就業への取組みを行っています。毎月発行する「安全ニュース」では、事故事例の例示から日頃の健康管理や交通事故防止のための心得などを会員全員に情報提供を行いました。

令和3年度は、「事故取扱基準」を施行し適正な措置を行い再発防止に努め、また、安全運転管理者の設置と公用車の安全運転管理体制を確立するため「公用車管理規程」を策定しました。

そして健康は安全就業の第一条件であることから、「フレイルサポーター養成講座」「フレイル予防教室」や「からだの衰え度チェック」などを実施し、会員の健康づくりをサポートしてきました。

5. センター活動への参加促進

センターの目指す理想である「自主・自立、共働・共助」の基本理念の浸透を図り、就業以外のセンター事業への積極的な参加を促すための「会員のしおり」の作成に取り組みました。

また、地域班活動は、センターの組織運営を支える最も基礎的な組織としての自主的な活動が望まれます。二か年続けて地区別懇談会が中止となりましたが、令和3年度は、会費無料キャンペーンに併せた、地区別入会説明会や就業相談会の共同運営に協力頂きました。

そして、センター事業への参加を促進するための「シルバーポイント制度」を実施しました。

6. 運営基盤の強化

コロナ禍の影響を受けた経済社会の停滞等が、センター事業へも大きな影響を及ぼす今日、公益法人としての収支相償の原則の元、予算執行の精度を高め財政の安定化を図ることが重要となっています。

センターでは、運営基盤の一つとしての適正な人員確保、業務分担そして研修によるスキルアップ等事務局員の強化を図り、事務の効率化や事務執行体制の強化に取り組みました。